

千葉商大
同窓会
鳥取県支部報

2000年(平成12)年3月1日
第1号
千葉商大同窓会鳥取県支部
支部長 松田陽吉
事務局 千683-6803 米子市加茂町2-62
米子加茂町郵便局森尾邦夫気付
TEL 0859-33-5993



鳥取県支部発足にあたり

支部長 松田陽吉

皆さん、新年おめでとーござい
ます。

本年も、会員相互の親睦を深め、
支部活動が活発になるよう期待し
ております。

さて、思い起こせば昨年の八月
八日、原田千葉学園理事長様を始
めとして、多数のご来賓臨席の下、
盛大に設立総会が開催出来まし



た。感激が、昨日のように
はつきりと蘇って参ります。
又、設立に至るまで、
尽力頂きました準備委員
のみならず、ご苦勞
に対し改め

て厚く御礼申し上げます。

設立後、早々に母校の市川市国
府台でありました千葉商科大学同
窓会常任幹事会に出席し、設立の
報告をして参りました。

又、原田理事長様にもお会いし、
御礼を申し上げましたところ、あ
の日の感激と喜び、更には会員皆
様方の意気込みに対して、今後の
支部活動に期待を寄せておられ、
みなさんにもよろしくお伝え下さ
いとの事でした。

話しは変わりますが、十一月二
十三日、出雲市の島根厚生年金会
館に於いて、隣の島根県で支部が
新生されました。その記念式典に、
私と森尾事務局長がお祝いに駆け
つけました。

島根県支部は、支部長の死去に
伴い、休眠中であつたようですが、
私共もお世話になりました、広島

支部長である堀岡様のご指導と神
田支部長他新生準備委員の努力に
より盛大に挙行されました。これ
で、山陰両県にめでたく支部が誕
生し、今後は、情報交換等にて交
流を重ね、双方の支部拡大を図ろ
うと挨拶致しました。

席上で、堀岡様の情報によりま
すと各地で設立の機運が上昇中で、
中国地区では、山口県・岡山県、
更には四国地区でも動きがあると

鳥取県支部の活発な 支援活動に感謝す

千葉商科大学同窓会広島県支部
支部長 堀岡 幸雄

鳥取県支部会員の皆さま、お元
氣でございましたでしょうか。皆さまに
お会いしましたのは、昨年の夏、
八月八日(日)、鳥取県支部結成
の日でした。それから早くも半年
を経ました。あれから、九月二十
六日(日)、三重県支部の結成総
会が開催されましたし、十一月二
十三日(火)勤勞感謝の日には、

島根県支部の新生総会が開催され
ました。鳥取県支部からは、松田
支部長さんと森尾さんの、二名の
方がお祝いに出席されました。

特に松田支部長さんは、島根県出
雲市内の鳥取銀行出雲駅前支店に
ご勤務なさっておりますので、

聞いております。

そんな中で私達の支部は、見事
に発進したわけですが当初にも申
し上げましたように、将来いかに
支部活動を活発させるかという使
命があります。それには、会員の
皆さん全員が設立時を思い出す事
です。

皆さんガンバリましょう。
以上で意を尽くしませんが、発
足の挨拶とさせていただきます。

何かと後輩の面倒を見ていただい
ている様子です。大変有り難い
ことであります。結成総会当日
も島根県支部会員の皆さま方は、
新生なった島根県支部の結成総会
が、実に賑々しく盛大に挙行出来
ましたことを、このうえなく喜び
に感じておられました。支部結成
のお世話をさせていただきまし
た小生と致しまして、喜びに堪え
ません。

新春早々の常任幹事会が、一月
二十九日(土)東京・上野の静養
軒において催され、島根・鳥取両
県支部の支部長さんにお会いする
ことが出来て、いろいろとお話し
することが出来ました。西日本の
仲間が集えるという事は、本当
に心強いものだと思感したもので
あります。その時の話で羨ましい
限りだと感じたことがあります。
鳥取・島根の両支部は、隣同士で

ありますし、両県の主要な都市が県境に近く、実に接近した地域に存在しておりますので、両県の交流も容易ですから、支部総会も両県が一ヶ所で開催して、支部同士の交流をしていくことも考えたいとのこと、誠に結構なことです。

中国五県に各々支部が誕生しましたならば、中国五県同士の交流として、支部総会に参加しあうといった実践も、早い機会に実現出来そうに思いますし、実現しなくてはならないと思います。そうして、交流していく中で、お互いに他県支部の実践から学びあいながら、素晴らしい支部活動を推進していきたいと思えます。

来る七月一日(土)は、広島県支部の十周年の記念総会を広島駅新幹線口より出て、左側に隣接しているホテルグランヴィア広島において、開催する計画であります。翌二日(日)は、大型バスを借り切って、しまなみ海道を走つていただき、瀬戸内海の素晴らしさを満喫して頂きたいと考えております。

中国五県の内、残る二県の岡山・山口の両県も今春四月、五月には県支部の誕生をみることになりそうであります。山口県は四月の結成を目指し、一月の中旬に、黒石氏・柏原氏・前田氏の三者が会合を持たれまして、いよいよスター

トの準備態勢も完了された模様であります。岡山県は、昨秋十一月二十八日(日)、岡山駅裏の第一イン岡山において、第一回の支部設立準備委員会を持たれました。県内を五ブロックに分け、それぞれのブロックにおいて会合をもち、各ブロック毎に役員を選出し、一月末までに報告、二月下旬には各ブロックで選出された役員さんに集まっていたいて、支部設立の準備に入つていただき、五月連休明けを目途に結成総会を開催したいとのことであります。

四国地方では、高知県に支部が出来ていますが、残り三県には未だ支部は出来ていません。現在支部設立を働きかけていますのは徳島県と愛媛県です。徳島県では、すでに二名の方、吉岡氏と加林氏に支部設立に向けてのお世話をお願い申し上げていますので、近く朗報が届くのではないかと心待ちにしているところであります。

鳥取県支部の皆さん、母校、千葉商科大学の素晴らしい発展・躍進に互して、我が同窓会もますます発展・伸張していくよう、われわれ西日本の支部会員ひとりひとりも、頑張つて支部活動を充実させ、同窓の仲間同士、手を取りあい協力しあつて、胸を張つて生きていきたいと思います。

千葉商大同窓会鳥取県支部経過報告

11年8月8日

1. 平成7年10月21日(土) 18時
明治町「鳥久」
出席者11名：松田、石谷、森尾、岡本、今出、坂根、柴田、足立、御堂河内、徳岡、遠藤
支部結成決議、資料取り寄せを決める。
2. 平成8年1月24日(水) 同窓会支部結成推進委員長 吉岡良馬氏より、県内同窓名簿、支部助成費配分基準、会則例の送付を受ける。
3. 平成8年6月19日(水) 19時
角盤町「長年」
出席者12名：松田、石谷、森尾、岡本、今出、坂根、松岡、松田、柴田、足立、徳岡、遠藤
名簿により賛同者の拡大策を決める。
4. 平成9年9月16日(火) 19時
末広町「たじまや」
出席者5名：松田、石谷、森尾、岡本、坂根 同窓会発足式の打ち合わせ。
5. 平成9年11月15(土) 18時
「ホテルハーベストイン米子」
鳥取伯者同窓会発会式
出席者10名：松田、石谷、池淵、岡本、坂根、柴田、足立、浜田、徳岡、遠藤
6. 平成10年11月14日(土) 18時
角盤町「芭蕉庵」
出席者9名：松田、石谷、池淵、森尾、坂根、柴田、浜田、徳岡、遠藤
7. 平成11年2月1日(月) 同窓会支部振興委員 堀岡広島県支部長より、松田、森尾へ支部結成の要請が送られてくる。
8. 平成11年3月6日(土) 18時
角盤町「玉司」
出席者11名：内藤、松田、石谷、池淵、森尾、岡本、今出、坂根、柴田、浜田、遠藤
設立総会を8月8日に決定、準備委員会を結成。
9. 平成11年5月13日(木) 県内同窓生へ支部設立趣意書を送付する。106通。
10. 平成11年6月19日(土) 18時30分 角盤町「ふくろう」
出席者7名：内藤、松田、石谷、池淵、森尾、岡本、浜田
趣意書返送結果(35)の検討(8/8出席17、未定・欠席16、他2) 未着者住所再確認、スケジュール確認。
11. 平成11年7月9日(金) 設立総会案内の発送 94通
12. 平成11年7月17日(土) 13時
車尾「があるふれんど」
出席者7名：堀岡広島県支部長(奥様同行)、松田、石谷、池淵、森尾、岡本、今出
13. 平成11年8月1日(日) 11時
「米子国際ホテル」
出席者8名：松田、石谷、池淵、森尾、岡本、今出、足立、浜田
総会案内返信42通(出席13、欠席29) 事前準備及び担当確認、当日担当とスケジュール決定。
14. 平成11年8月8日(日) 10時
集合「米子国際ホテル」
鳥取県支部設立総会

千葉商科大学同窓会 鳥取県支部 設立総会開催

今夏八月八日(日)、宿願であった鳥取県支部の設立総会が、米子市の米子国際ホテルに於いて開催されました。

県内在住の卒業生は約百名、内終身会費納入者は五十九名です。以前より県内の会員個々には、卒業生の集まりがしたいとの思いがありました。

ようやく平成七年十月に米子市を中心とする二十名程が初めてOB会を持ちました。すぐに支部設立の気運が盛り上がり、同窓会本



部へ連絡しましたところ、翌八月一月には県内卒業生名簿、支部結成資料等の送付があり、準備を進めることとなりました。便宜、任意団体として鳥取伯耆支部の名称でOB会を結成、その後、年一、二回会合を重ねてきました。しかし、県東部、中部地区へ同窓の輪を拡げることが難しく、手詰まりを感じていました。ところが本年

二月、支部振興委員の堀岡広島県支部長より、叱咤激励の連絡を受けました。本部では、これから西日本へ支部結成を拡大するとのこと。三月には準備委員会を結成し、設立総会の開催を八月八日に設定。県内卒業生へ案内の発送等、連絡手配に奔走することになりました。その間には、堀岡支部長にも来県

いただくなどして、ようやく設立総会を迎えることができました。総会は、大学より原田理事長、支部振興委員会副委員長の矢坂東京都支部長、堀岡広島県支部長、和田岐阜県副支部長、また支部設立準備中の山口県から黒石準備委員長の皆様を来賓に迎え、会員十五名で午前十一時半に開始しました。まずは校歌を斉唱し、卒業以来で緊張しながらも往時を思い出し、一挙に学生時代に帰ったような気になれました。松田準備委員長

の設立経過報告・お礼の挨拶、続いて原田理事長、堀岡広島県支

部長から祝辞を受け、原田理事長には、二十一世紀に向けての新学部設置計画等のご説明があり、会員一同、母校の目覚ましい発展と将来に感銘を受け、商大卒業生としての誇りを感じることができました。

議事は、四十六年卒の池淵氏が議長となり、会則、役員、予算について審議し、原案通り可決し無事終了しました。

記念撮影の後、懇親会に移り、松田支部長のお礼と今後の決意挨拶、矢坂支部振興委員会副委員長の乾杯スピーチで宴が始まりました。

母校の施設現況、在学生の様子、国府台、市川の街並みをビデオで見ながら、在学中との変容に驚きながら談笑の内、安来節四代目家元渡部お糸を迎えて、安来節を始めとする山陰の民謡や当地ソング、色紙プレゼントなど、和やかなうちに大いに盛り上がり、楽しい一時が過ぎました。

往時を懐かしむ話題が尽きませんでしたが、黒石山口県支部設立準備委員長が、支部結成の決意を述べられ、次年度総会開催地担当副支部長の挨拶、最後に和田岐阜県副支部長の締めでお開きとなりました。

この数年間を振り返り、年月の過ぎ去ること、まさに矢の如く、

やつと第一ステップを乗り越えたと、感慨無量の思いで支部長以下一同、決意を新たにしているところ



同窓会思い思い

昭和四六年 経済学科卒
鳥取県支部副支部長 渡辺 紀雄

七十年安保、大学紛争の残影消えぬ春、商大を卒業して二十八年。母校の発展を時折耳にはしていたが、以来一度も彼の地へ足を運ぶことなく過ぎ、無機質で無節操で破廉恥極まりないバブルと崩壊の世界を只々ひたすら追いかけてり追われたり。そんな日常に届けられた「商大同窓会鳥取県支部発会」の報せは、何とも心地よい瞬間が与えられた事か。

一九〇〇年代最終の年に誕生した鳥取県支部は、意義深く期待に値するものと思われる。志を立て上京した思い出を懐かしむもよし、青春を燃焼した日々を回想するもよし、ともすれば日常に忙殺される我が身を励ます手立てとするもよし。同窓会を各人がどのような位置付けるかは各々であろうが、少なくとも心のオアシスであって欲しいと祈願する。



国府台に

思いを寄せて

昭和五一年 経済学科卒
鳥取県支部副支部長 御船 秀

思いも寄らぬ支部設立(すみません)とても嬉しく、心の中で小躍りしたくらいでした。国府台には本当に思い出が多く、感謝・感激しています。

ゼミの緑川先生はお元気でしょうか? 先生が怪我をされ、毎週先生の家(赤羽)までゼミを代表してレポートなどを届けにメッセンジャー・ボーイをしたことを覚えています。

体育会スキー部に所属したことは、大学生活のなかで特に感慨深いものがあります。

大学のみならず都会での暮らしでややもすると流されてしまいそうなところを、先輩や仲間と過ごした四年間は一層意義深いものにしてくれました。その仲間達とは今も付き合いがあります。そこに同郷の仲間が増えることの喜びを与えて頂き感謝です。

校歌をことあるごとに歌ったスキー部以来、支部設立総会で歌えたことは、ことのほか胸に迫るものがありました。鳥取支部を誇りをもって育て、大切にして行きたいものです。

次回鳥取県支部総会のご案内

5/20(土) 15:00 総会
17:00 懇親会
場所: 三朝温泉「木屋旅館」
TEL 0858-43-0521
会費: 1万円(宿泊される方)
6千円(宿泊されない方)
出席者は、同封のハガキにて4月末までに返送して下さい。



〔事務局よりの連絡〕

鳥取県支部の運営の為、皆様から会費をお願いしています。

会費は年間3000円です。

お手数ですが、次の郵便振替口座へ振込をお願いします。

□座番号 0134013162952
加入者名 千葉商大鳥取県支部